ICタグ点呼器
BrightCall

取扱説明書

―はじめに―

ICタグ点呼器 BrightCall をお買上げいただき、ありがとうございます。
BrightCall を安全に正しくお使いいただくため、ご使用になる前に本取扱説明書をよくお読みください。
BrightCall および本書の記載内容についてご不明な点がございましたら、お手数ですが、下記のお客様相談窓口までお問い合わせください。
なお、本書の内容は予告なしに変更することがあります。

CMC　千代田メインテナンス株式会社
BrightCall お客様相談窓口
〒311-1493　茨城県鉾田市箕輪 1632
TEL ０２９１－３７－３９７１

―BrightCall の特長―

BrightCall は、アクティブ型の無線ＩＣタグとＰＤＡタイプの点呼器を組み合わせた、ＩＣタグ点呼器です。

○小型軽量でツアー中の携帯にもわずらわしさがありません。
○簡単操作で短時間に点呼ができ、不在者を点呼器の画面で確認できます。
○点呼器１台で最大４つのグループに分けて点呼できます。
○点呼器１台で最大４００人まで点呼できます。
（※各グループ最大１００人まで×４グループ）
○国内はもちろん、海外のどこでも点呼できます。
○タグ携帯者の名前をＰＣ（パソコン）から点呼器に転送できます。ＰＣでの名前入力の際に、ツアー参加者名簿などのお手持ちのデータベースがご利用になれます。
（※Windows 版 Excel2000 以降のバージョンに対応しています。）
○ツアー添乗時の点呼以外にも、緊急避難場所やイベント会場での点呼、学校遠足などの野外活動時の点呼など、さまざまな場面でご利用できます。

0605C

―取扱説明書のご使用方法―

本書の構成は以下のようになっております。

第１部　諸注意

BrightCall を安全に正しくお使いいただくための注意事項をまとめております。
ご使用になる前に必ずお読みください。

第２部　基本事項

BrightCall を構成する BrightCall-TX(タグ)と BrightCall-PDA(点呼器)について、それぞれの各部の名称、基本的な操作の方法、取扱上の注意などについて説明しております。
ご使用になる前に必ずお読みください。

第３部　インストール

BrightCall-PDA(点呼器)とＰＣ（パソコン）との間でデータを転送する際に必要なＰＣアプリケーションソフトウェア、ＵＳＢドライバをインストールするためのガイドです。
付属の「簡易インストールガイド」にしたがった方法でインストールができない場合にお読みください。

第４部　操作

BrightCall-PDA(点呼器)の操作方法、BrightCall-PDA(点呼器)とＰＣ（パソコン）との間のデータ転送方法などについて説明しております。
ご使用の際に、お読みください。

第５部　トラブルシューティング

BrightCall をご使用中に起こりうるトラブルの対処方法について、まとめております。
必要に応じてお読みください。

―目次―

第１部　諸注意 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
第１章　安全上のご注意 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

第１部　諸注意

BrightCall を安全に正しくお使いいただくために守っていただくことがらを「安全上のご注意」、「取扱上のご注意」としてまとめております。

－表示マークの説明－

本書では、危険の度合いを以下の３段階に分けて表示しております。

⚠ 危険	誤った取り扱いをした場合、人が死亡または重傷を負う可能性が切迫してある状況を指します。
⚠ 警告	誤った取り扱いをした場合、人が死亡または重傷を負う可能性がある状況を指します。
⚠ 注意	誤った取り扱いをした場合、人が軽傷または中程度の傷害を負う可能性、または物的損害のみ発生する可能性がある状況を指します。

－指示マークの説明－

本書では、安全な取り扱いをしていただくため、以下のように具体的な動作の指示をしております。

禁止	してはいけない事項です。
強制	必ず実行していただく事項です。

第１章　安全上のご注意

この「安全上のご注意」は、BrightCall をご使用になる方および第三者の方の生命、身体への危害または財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために必要なことがらを記載しております。ご使用の際には、記載事項を必ずお守りください。

⚠ 危険

 禁止	**電池を火の中に入れたり、加熱したりしないでください。また、分解、改造などはしないでください。** 電池が発火・破裂する恐れがあります。 電池を廃棄する場合は、自治体などで定められた所定の方法にしたがってください。
 禁止	**電池の＋端子と－端子をショートさせないでください。** 発熱、発火する恐れがあります。
 強制	**電池が破損、液漏れした場合は、ただちに新しい電池と交換してください。** 発熱、発火する恐れがあります。 漏れた液が目に入った場合は失明する恐れがありますので、目をこすらずにすぐにきれいな水で洗い流し、医師の診察を受けてください。
 強制	**電池を幼児の手の届かないところに保管してください。** 電池を誤って飲み込むなどの恐れがあります。万一飲み込んだ場合は、すぐに医師の診察を受けてください。

⚠ 警告

禁止	**落としたり、ぶつけたりして、強い衝撃を与えないでください。** **また、曲げたり、押しつぶしたりするような力を加えないでください。** アクリル製の液晶パネルが割れて、破片でけがをする恐れがあります。
禁止	**本製品をネックストラップなど用いて首にかけて使用する場合は、ネックストラップなどを引っかけたり、本製品が引っ張られたりしないようにしてください。** 首に強い力がかかって、首を傷める恐れがあります。
禁止	**本製品をネックストラップなどを用いて使用する場合は、ネックストラップなどを持って本製品を振り回さないでください。** 周囲にいる人に本製品があたって、けがをさせる恐れがあります。
禁止	**アンテナを立てている際に、アンテナの先端を周囲の人に近づけないようにしてください。** アンテナが周囲の人の目に刺さるなどのけがをさせる恐れがあります。
禁止	**充電器を濡れた手でさわらないでください。** コンセントを抜き差しする際に、感電する恐れがあります。
禁止	**濡らさないでください。** 内部の電子回路がショートして、発熱・発火する恐れがあります。
強制	**航空機内や医療施設内など、電磁波の発生する機器の使用を制限された場所では、電源を切ってください。** 周囲の電子機器が誤動作を起こす恐れがあります。

⚠注意

 禁止	**本製品を高温になる場所や結露する場所に置かないでください。** **発火などの異常が発生する恐れがあります。**
 強制	**本製品使用中に異臭、発煙、著しい発熱などの異常が発生した場合は、直ちに使用を中止してください。** **発火などの異常が発生する恐れがあります。**

第２章　取扱上のご注意

この「取扱上のご注意」は、BrightCall を正しくお使いいただき、正常に機能させるために必要なことがらを記載しております。ご使用の際には、記載事項を必ずお守りください。

１．落としたり、ぶつけたりして、強い衝撃を与えないでください。
また、曲げたり、押しつぶしたりするような力を加えないでください。
２．水などの液体で濡らさないでください。
万一、水などがかかった場合は、すぐにふき取ってください。
３．温度が高くなる場所や直射日光が当たる場所に置かないでください。
４．湿度が高くなる場所や結露する場所に置かないでください。
５．分解や改造をしないでください。
６．電池を交換する際には、ほこり・水滴その他の異物がケース内部に入らないようにしてください。また、基板の金属部分に触れないようにしてください。
７．航空機内、病院内などの使用を制限された場所では電源を切ってください。
８．シンナー・ベンジン等の有機溶剤で本製品を拭かないでください。
９．テレビのブラウン管やパソコンなどの電磁波の発生する機器、およびスチールデスクなどの金属製品からは、30㎝ 以上遠ざけて使用してください。

第２部　基本事項

第１章　BrightCall の商品構成

BrightCall セットには以下のものが含まれております。

１．BrightCall-TX(タグ)	２０個（電池付）
２．BrightCall-PDA(点呼器)	１台
３．付属品	
・簡易取扱説明書	１部
・簡易インストールガイド	１部
・ＣＤ（取扱説明書、ＰＣ用ソフト）	１枚
・ＵＳＢケーブル	１本
・点呼器用充電池（充電式ニッケル水素電池）	３本
・充電器	１台
・充電器取扱説明書	１部

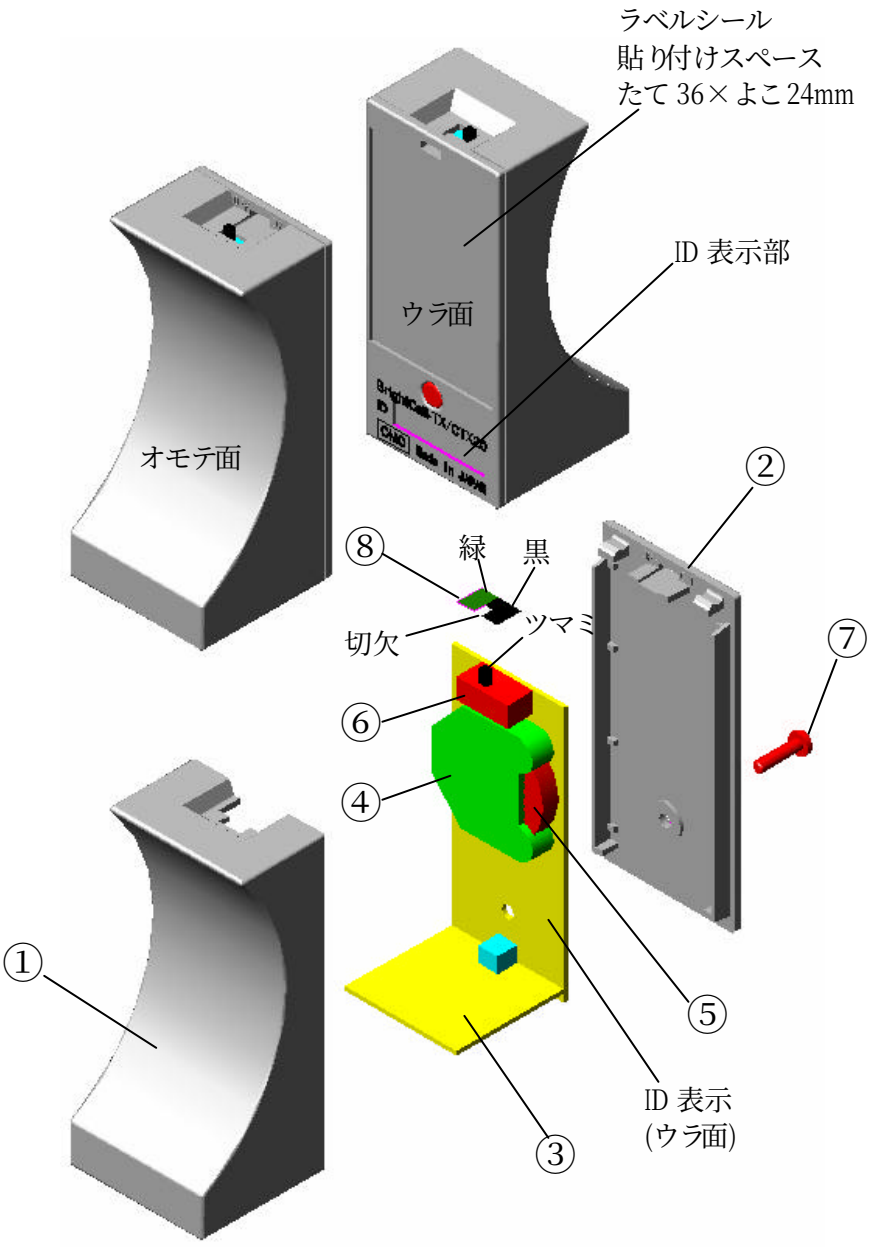
第２章　BrightCall-TX(タグ)の概要

１．仕様

・品名：BrightCall-TX(タグ)
・型式：CTX20
・寸法：幅 26×高さ 57×奥行 26㎜
・重量：約 20g（電池装着時）
・使用電池：CR2032（１個）

２．各部の名称

①ケース
②カバー
③基板
④電池ホルダー
⑤電池
⑥電源スイッチ
⑦ネジ
⑧オンオフシート



３．取扱方法

（１）電源を入れる（発信を開始する）
電源スイッチのツマミをオモテ面に向かって右側(ON 側)にスライドさせてください。
発信を開始し、自動的に発信を繰り返します。
※電源スイッチを入れると、ツマミのよこに緑色の表示がでます。
※電源スイッチのツマミに強い力をかけないでください。ツマミが破損する原因となります。

（２）電源を切る（発信を停止する）
電源スイッチのツマミをオモテ面に向かって左側(OFF 側)にスライドさせてください。
発信が止まります。使用しないときは電源を切ってください。
※電源スイッチのツマミに強い力をかけないでください。ツマミが破損する原因となります。
※再び電源を入れる場合は、電源を切ってから１０秒以上時間をおいてください。

（３）電池の交換
※電池の寿命は、連続使用で２か月程度を目安としてください。
①ウラ面のネジをドライバーで取りはずしてください。
②カバーの下端を起こすようにして、カバーを取りはずしてください。
※カバーをはずす時は、基板を落とさないようにウラ面を上に向けてください。
③基板をケースから取り出してください。電源スイッチの上にオンオフシートがのっていますので、紛失しないようにしてください。
④電池を電池ホルダーから引き抜いてください。このとき電池をプラスチックまたは木製のピンなどで押し出すと、電池が容易に取り出せます。
※金属製のピンなどは使用しないでください。基板が破損するおそれがあります。
⑤新しい電池(CR2032)をホルダーに差し込んでください。電池の向きは＋側を上に向けてください。
⑥オンオフシートを正しい向きに電源スイッチの上にのせてください。このとき、電源スイッチのツマミをオンオフシートの切欠部ではさみ込んでください。
⑦基板をケースに入れてください。
⑧ケースにカバーをかぶせてください。
※内部にほこり・水滴その他の異物が入らないようにしてください。
※カバーに表示されたＩＤと基板に表示されたＩＤを必ず一致させてください。一度に複数の電池交換を行う場合には、カバーと基板の組合せを他のタグと取り違えないようにしてください。
⑨ウラ面からネジで固定してください。

（４）ラベルシール
ウラ面には、ツアー名やお客様の氏名などを表示できるように、ラベルシールを貼り付けるスペース（たて 36×よこ 24㎜）を設けてあります。
※ラベルシールの材質は紙製のものとしてください。アルミ箔などの金属の含まれたシールを貼りますと、タグの発信電波がさえぎられて点呼ができなくなるおそれがあります。

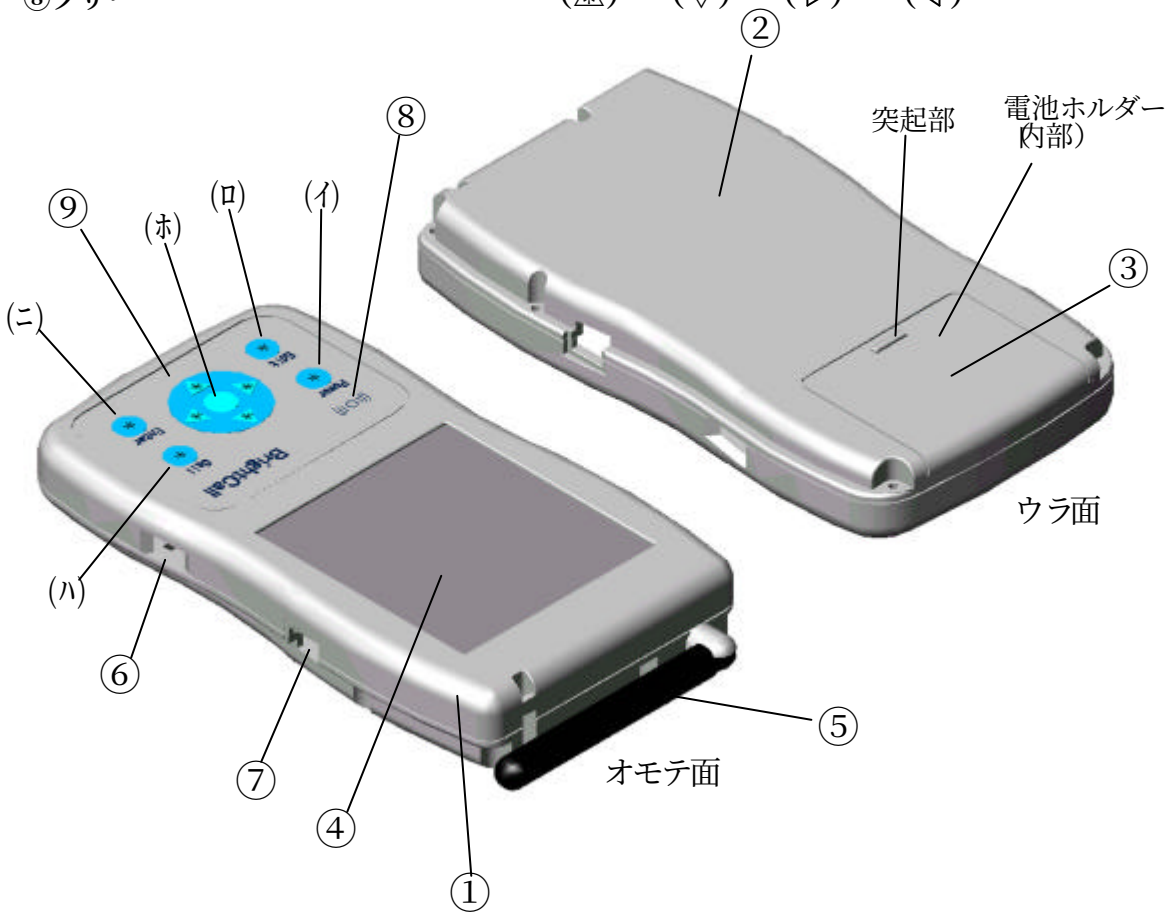
第３章　BrightCall-PDA(点呼器)の概要

１．仕様

・品名：BrightCall-PDA(点呼器)
・型式：CPDA10
・寸法：幅 86×長さ 150×厚さ 23㎜（アンテナ部を除く）
・重量：約 200g（電池装着時）
・使用電池：単４形充電式ニッケル水素電池（３本）
　　または単４形アルカリ電池（３本）

２．各部の名称

①ケース
②カバー
③電池カバー
④液晶モニター
⑤アンテナ
⑥電源スイッチ
⑦ミニＵＳＢコネクタ
⑧ブザー
⑨キーパネル
(ｲ)Power キー
(ﾛ)Edit キー
(ﾊ)Call キー
(ﾆ)Enter キー
(ﾎ)矢印キー
Up(△)、Down(▽)、Right(▷)、Left(◁)キー



３．取扱方法

※ご使用になる前に、まず付属の点呼器用充電池を充電してください。

（１）充電

①付属の充電器に、付属の点呼器用充電池をセットしてください。電池の向きは充電式電池収納部の表示に合わせてください。電池をセットする位置は４ヶ所のうちのどこでもかまいません。

②充電器のウラ面にある電源プラグを引き起こして、コンセントに差し込んでください。充電が開始され、充電表示ランプが点灯します。

③充電表示ランプが消灯したら充電完了です。充電器の指かけ部分を持って電源プラグをコンセントから抜いてください。

※充電器の詳しい取扱方法については添付の取扱説明書をご覧ください。

※海外で充電器をご使用になる場合は、行先の仕様に合わせたアダプタープラグが必要となります。

（２）電源を入れる

電源スイッチを上側にスライドさせてください。

初期画面として、＜グループ選択画面＞が表示されます。

※電源スイッチを入れると、ツマミの下側に緑色の表示がでます。

（３）電源を切る

電源スイッチを下側にスライドさせてください。

表示画面がすべて消えます。

※スリープモード（省電力機能）

電力消費を抑えるため、ご使用中に一時停止状態とすることをスリープモードといいます。スリープモードでは最後に表示されていた画面が保持されます。

①自動スリープモード

電源が入った状態で何も操作をしない状態が５分間続くと、自動的にスリープモードとなります。

自動スリープモードを解除するには Power キーを長押し（２～３秒間押し続ける）してください。最後に表示されていた画面が表示されます。

②手動スリープモード

Power キーを長押しすることで、手動でスリープモードに入ることもできます。

手動スリープモードを解除するには、①と同様に Power キーを長押ししてください。最後に表示されていた画面が表示されます。

なお、長時間使用しない場合には、電源スイッチを切ってください。

また、点呼中はスリープモードに入れませんので、Enter キーを押して点呼を中止してから、スリープモードに入ってください。

（４）音量の調整

＜グループ選択画面＞上で、音量の調整ができます。

①音量を上げる

Edit キーを押しながら Up キーを押してください。

音量が上がります。

②音量を下げる

Edit キーを押しながら Down キーを押してください。

音量が下がります。

（５）電池の交換・充電

※完全充電した場合の使用可能時間は、想定される使用状態（２０℃で１時間おきに１０回ずつ点呼操作を行った場合）で１２時間を目安としてください。画面左下にはバッテリー残量が表示されますが、毎日充電することをおすすめいたします。

①電池カバーの突起部を軽く押し付けながら、電池カバーを下側にスライドさせてください。電池カバーがはずれます。

※電池カバーの突起部を強く押し付けすぎないでください。電池カバーが破損する原因となります。

②電池を電池ホルダーから抜いてください。

③電池を充電してください。

④交換電池を電池ホルダーに入れてください。電池の向きは電池ホルダーの表示にしたがってください。

※交換電池は付属の充電池以外にアルカリ電池もご使用になれます。

※アルカリ電池は充電しないでください。

⑤電池カバーを本体のカバーに取り付けてください。

※電池交換時はケース内にほこり・水滴その他の異物が入らないようにしてください。

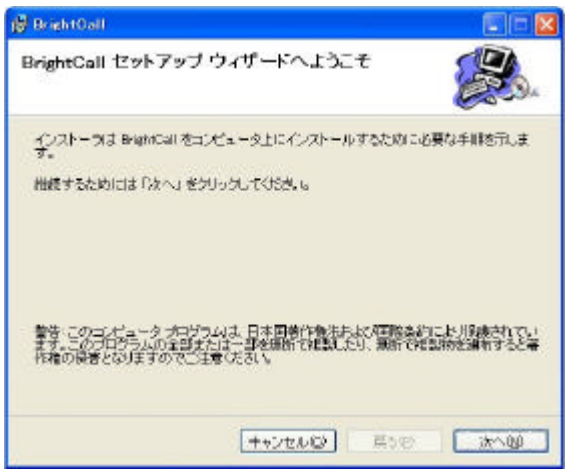
第３部　インストール

お手持ちのＰＣ（パソコン）に、ＰＣアプリケーションソフトウェアとＵＳＢドライバをインストールしますと、ＰＣに入力したタグ携帯者の名前を BrightCall-PDA(点呼器)に転送することができます。
本ソフトウェアおよびドライバは、マイクロソフト社の WindowsXP または Windows2000 に対応しております。

第１章　ＰＣアプリケーションソフトウェアのインストール

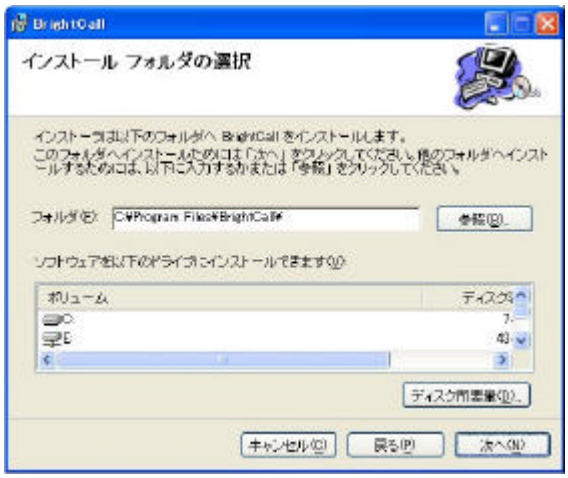
注意！
ＰＣアプリケーションソフトウェアのインストール中は、
ＰＣと BrightCall-PDA(点呼器)を接続しないでください。

本書は WindowsXP をお使いの場合の表示画面を載せておりますが、Windows2000 でも同様の画面が表示されます。

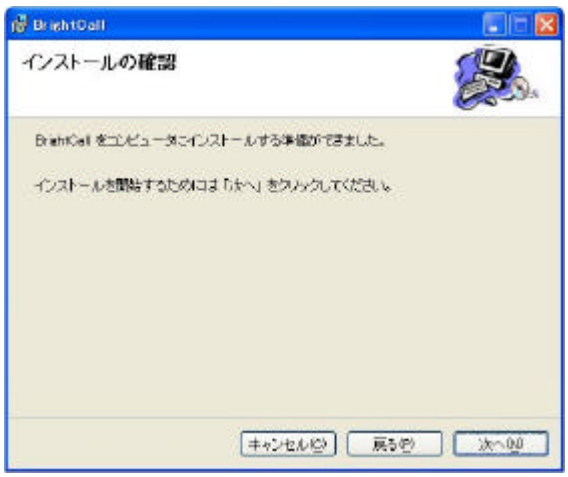


１）
①付属のＣＤをＰＣにセットしてください。自動的に左図のインストール画面が表示されます。
②次へ(N)をクリックしてください。

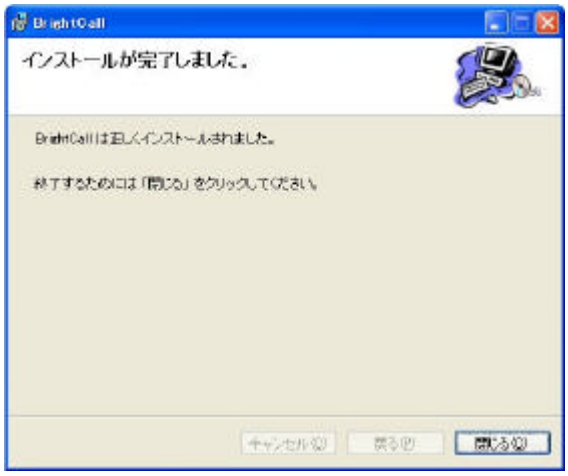
※自動的にインストールが開始されない場合は、６）から１１）の手順でインストールを開始してください。



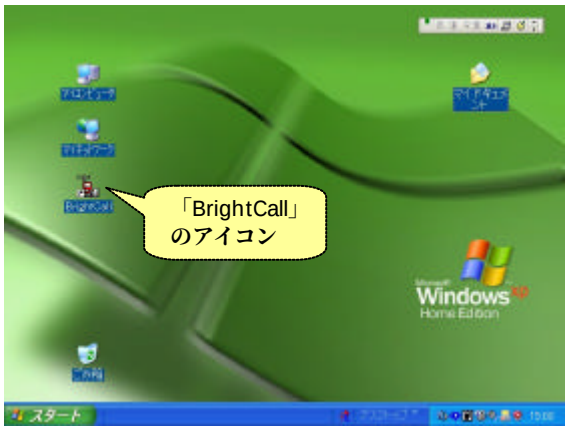
２）次へ(N)をクリックしてください。



3）次へ(N)をクリックしてください。
インストールが開始されます。

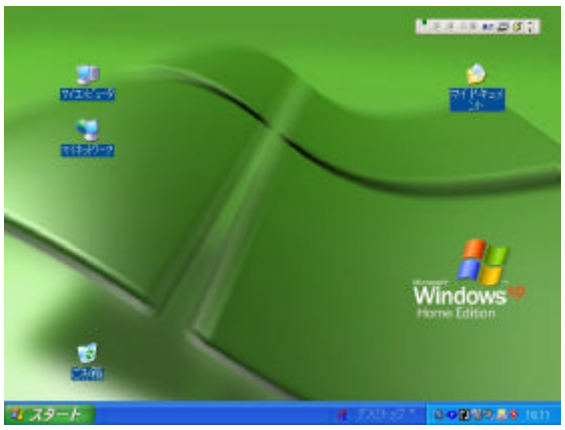


4）閉じる(C)をクリックしてください。
インストールが終了しました。



5）ＰＣ画面上に「BrightCall」のアイコンが表示されていることを確認してください。

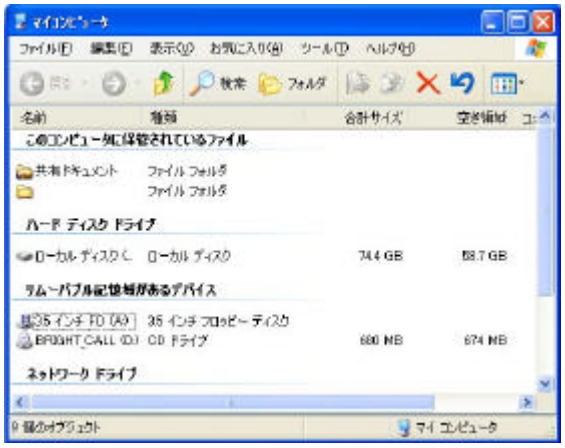
※続けてＵＳＢドライバをインストールする場合には、P.19 第２章の２）にすすんでください。



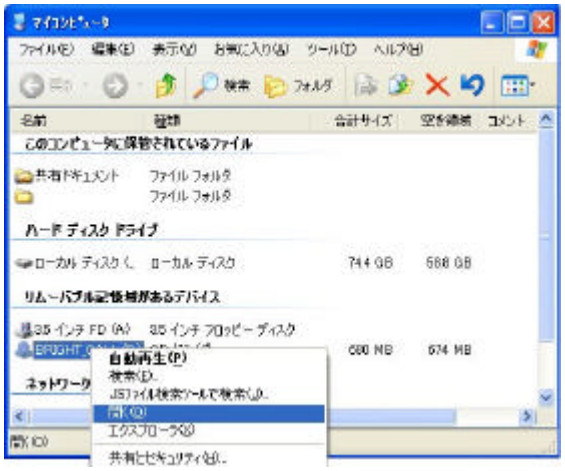
※自動的にインストールが開始されない場合は、ここからインストール操作を開始してください。

6）デスクトップ上にある「マイコンピュータ」のアイコンを右クリックしてください。
※ダブルクリックすると、8）にすすみます。

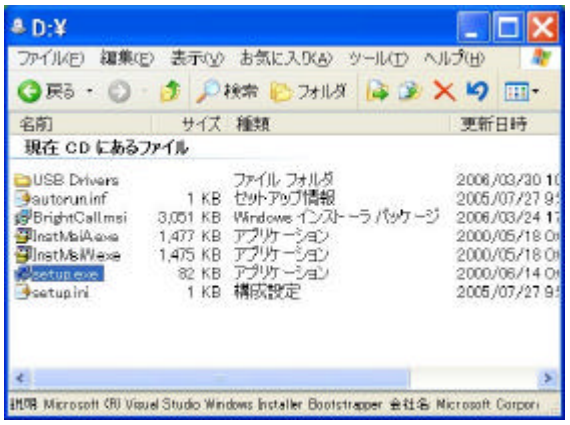
7）表示されたメニューの「開く(0)」をクリックしてください。



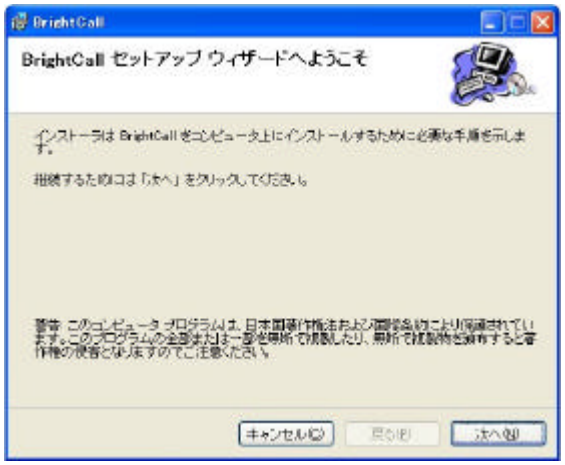
8）ＣＤドライブ
（左図の例では「BRIGHT_CALL(D:)」）のアイコンを右クリックしてください。
※ダブルクリックすると、１０）にすすみます。



9）表示されたメニューの「開く(0)」をクリックしてください。



１０）「setup.exe」のアイコンをダブルクリックしてください。



１１）インストールが開始されて、１）と同じ画面が表示されました。

※２）にもどって、２）から５）までのインストール操作を続けてください。

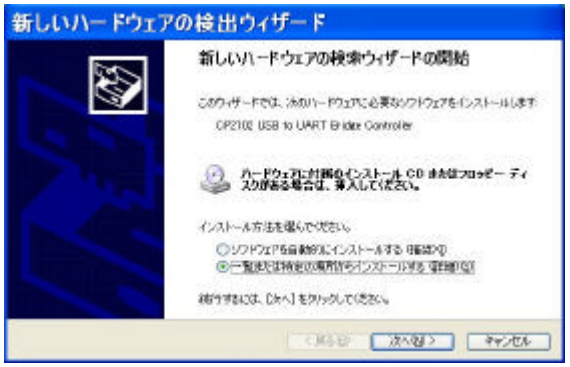
第２章　ＵＳＢドライバのインストール

本ソフトウェアを初めてＰＣにインストールした場合には、ＵＳＢドライバもインストールする必要があります。ＵＳＢドライバのインストールを、以下の手順でおこなってください。
本書は WindowsXP をお使いの場合の表示画面を載せておりますが、Windows2000 でも同様の画面が表示されます。

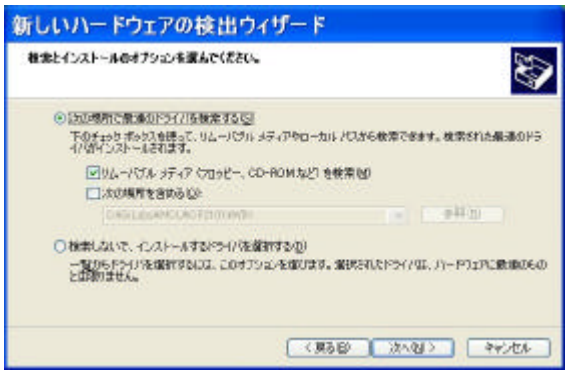
１）
①点呼器とＰＣの電源を入れてください。
②付属のＣＤをＰＣにセットしてください。

２）点呼器とＰＣを付属のＵＳＢケーブルで接続してください。

※ＵＳＢケーブルの端子を点呼器とＰＣのコネクタに十分に差し込んでください。

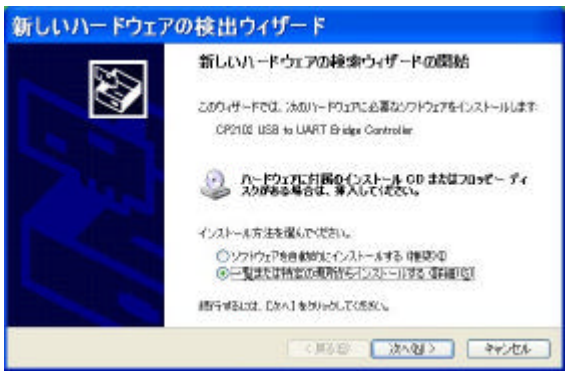


３）ＰＣ画面に左のような表示が出ます。
①「一覧または特定の場所からインストールする（詳細）（Ｓ）」をチェックしてください。
②次へ(N)をクリックしてください。

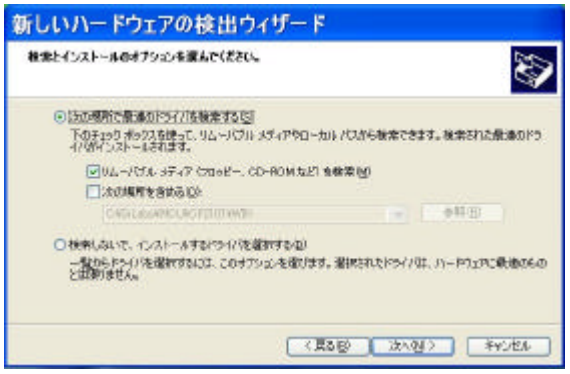


４）
①「次の場所で最適のドライバを検索する(S)」をチェックしてください。
②「リムーバブルメディアを検索(M)」をチェックしてください。
③次へ(N)をクリックしてください。

５）完了をクリックしてください。



6）3）と同様の表示が出ます。
①「一覧または特定の場所からインストールする（詳細）（S）」をチェックしてください。
②次へ(N)をクリックしてください。



7）
①「次の場所で最適のドライバを検索する(S)」をチェックしてください。
②「リムーバブルメディアを検索(M)」をチェックしてください。
③次へ(N)をクリックしてください。

8）完了をクリックしてください。

ＵＳＢドライバのインストールが終了しました。

第４部　操作
第１章　タグのＩＤを点呼器に登録する

本章では、タグのＩＤを点呼器に登録する方法について説明します。

「タグＩＤ」はタグのウラ面に表示されている５けたの英数字です。１台の点呼器でタグＩＤを４つのグループ（Ａ,Ｂ,Ｃ,Ｄ）に分けて登録できます。１つのグループには最大１００個のタグＩＤを登録できます。

登録されたタグには「コール番号」という３けたの整理番号が自動的に付けられます。点呼時には、不在者が携帯するタグのコール番号が点呼器画面に表示されます。ただし、ＰＣから点呼器にタグ携帯者の名前を転送した場合は、点呼時に不在者の名前が点呼器画面に表示されます。コール番号は点呼器に登録された順に以下のような番号をとります。

・グループＡ：「001」から「100」まで
・グループＢ：「101」から「200」まで
・グループＣ：「201」から「300」まで
・グループＤ：「301」から「400」まで

＜点呼器だけを使用する場合のタグＩＤ登録＞

ＰＣ（パソコン）を使用せずに、点呼器だけでタグＩＤとコール番号を対応させて管理する場合には、タグＩＤを意図した順番に登録する（例えば、タグをＩＤの小さい順（昇順）に登録するなど）必要があります。この場合は、本章の「２．タグを１つずつ順番に登録する」にしたがって登録してください。

点呼器だけの使用で、タグＩＤとコール番号を対応させる必要がない場合には、本章の「１．タグを一度にまとめて登録する」にしたがって登録してください。

＜点呼器とＰＣ（パソコン）を使用する場合のタグＩＤ登録＞

ＰＣ（パソコン）を使用してタグを管理する場合は、点呼器で一度にまとめて登録したタグＩＤをＰＣ上で小さい順（昇順）に並べ替えることができます。この場合には、本章の「１．タグを一度にまとめて登録する」にしたがって登録してください。

※ただし、点呼器での登録時に付けられたコール番号は、ＰＣで並べ替えやグループ振り分けを行うことにより、どのグループの何番目に並んだかによって新たなコール番号が付けられます。

＜タグＩＤの追加登録＞

タグを新たに追加購入された場合などで、すでに登録してあるタグＩＤに加えて新たなタグＩＤを追加登録する場合には、本章の「３．タグを追加登録する」にしたがって登録してください。

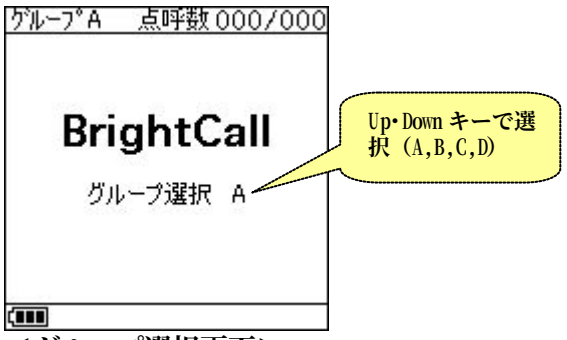
＜タグＩＤの消去＞

登録したタグＩＤを消去するには、本章の「４．登録したタグを消去する」にしたがってください。

1．タグを一度にまとめて登録する

1）点呼器の電源を入れてください。
＜グループ選択画面＞が表示されます。
アンテナを立ててください。

2）１つのグループに登録するタグの電源を入れてください。※１つのグループに登録できるタグは、100 個までです。



＜グループ選択画面＞

3）タグを登録するグループ（A,B,C,D）を Up キーまたは Down キーで選択してください。

4）Edit キーを押しながら Enter キーを押してください。タグ登録モードに入り＜タグ登録画面＞が表示されます。

＜タグ登録画面（登録前）＞

5）Enter キーを押してください。
受信した順にタグを登録します。
※Enter キーを押さずに 15 秒経つと、＜グループ選択画面＞にもどります。

※安定した通信を行うため、タグと点呼器を十分に近づけて、タグの登録を行ってください。

＜タグ登録画面（登録中）＞

6）タグが点呼器に登録されると、＜タグ登録画面＞右上の登録数がカウントされていきます。(P.22※説明 4-1A)

※タグから発信されている電波を受信すると、画面左下に「 ✕ 」のマークが表示されます。

※説明 4-1A：登録数
＜タグ登録画面＞の右上に表示された「点呼数 000/000」は、「点呼数（点呼した人数）／登録数（そのグループに登録されている人数)」を表しています。タグが登録されるごとに、登録数がカウントされていきます。

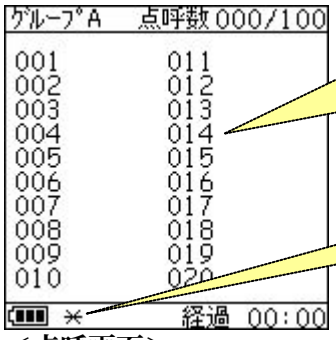
登録数が登録するタグの個数に達したら登録は終了です。（Aグループに 100 個登録した場合の例）

＜タグ登録画面（登録中）＞

7）登録数が登録するタグの個数に達したら登録は終了です。
タグの登録が終了したら、Enter キーを押してください。
タグ登録モードが終了して、＜グループ選択画面＞にもどります。

＜グループ選択画面＞

8）Enter キーまたは Call キーを押してください。
＜点呼画面＞が表示されて、登録したタグのコール番号が表示されます。



登録順（受信した順）にタグに付けられたコール番号

タグの受信状態が表示されます。

＜点呼画面＞

9）＜点呼画面＞には20人分のコール番号が表示されます。
Up キー・Down キーを押すと20人分ずつページスクロールされます。

※＜点呼画面＞で Call キーを押すと、点呼を開始します。詳細は P.47 第５章をお読みください。

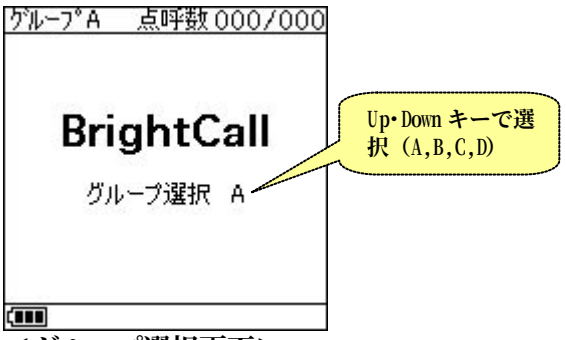
※＜点呼画面＞では、タグの電波を受信すると画面左下に「✳」のマークが表示されます。

１０）Left キーを押してください。
＜グループ選択画面＞にもどります。

２．タグを１つずつ順番に登録する

１）点呼器の電源を入れてください。
＜グループ選択画面＞が表示されます。
アンテナを立ててください。

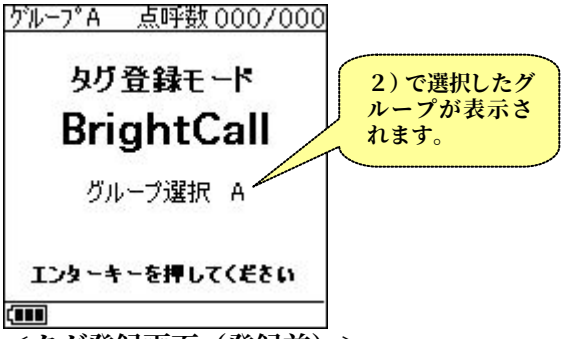
※タグの電源は入れないでください。



＜グループ選択画面＞

２）タグを登録するグループ（A,B,C,D）を Up キーまたは Down キーで選択してください。

３）Edit キーを押しながら Enter キーを押してください。タグ登録モードに入り＜タグ登録画面＞が表示されます。



＜タグ登録画面（登録前）＞

４）Enter キーを押してください。点呼器がタグを登録できる状態になります。
※この状態で、点呼器は受信したタグを自動的に順次登録していきます。
※Enter キーを押さずに 15 秒経つと、＜グループ選択画面＞にもどります。

※安定した通信を行うため、タグと点呼器を十分に近づけて、タグの登録を行ってください。

＜タグ登録画面（登録中）＞

５）１番目に登録させたいタグの電源を入れてください。
タグが点呼器に登録されると、登録数がカウントされて 001 となります。(P.22※説明 4-1A)

６）登録が終了したら、１番目のタグの電源を切ってください。

※１番目に登録したタグには、コール番号「001」をラベルシールなどでマークしておいてください。
以後、タグの管理をコール番号で行うことができます。

登録数がカウントされます。
002
003…

＜タグ登録画面（登録中）＞

7）２番目以降の登録するタグすべてについて順次５）、６）の操作を繰り返してください。
※１つのグループに登録できるタグは、100 個までです。
※２番目以降に登録したタグには、順次コール番号「002」,「003」…をラベルシールなどでマークしておいてください。以後、タグの管理をコール番号で行うことができます。

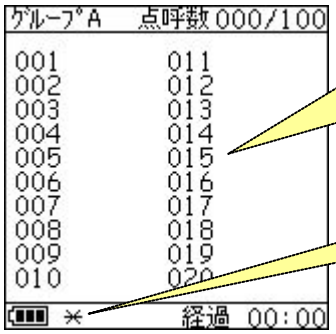
登録数が登録するタグの個数に達したら登録は終了です。（Aグループに 100 個登録した場合の例）

＜タグ登録画面（登録中）＞

8）登録数が登録するタグの個数に達したら登録は終了です。
タグの登録が終了したら、Enter キーを押してください。
タグ登録モードが終了して、＜グループ選択画面＞にもどります。

＜グループ選択画面＞

9）Enter キーまたは Call キーを押してください。
＜点呼画面＞が表示されて、登録したタグのコール番号が表示されます。



登録順（受信した順）にタグに付けられたコール番号

タグの受信状態が表示されます。

＜点呼画面＞

１０）＜点呼画面＞には20人分のコール番号が表示されます。
Up キー・Down キーを押すと20人分ずつページスクロールされます。

※＜点呼画面＞で Call キーを押すと、点呼を開始します。詳細は P.47 第５章をお読みください。

※タグから発信されている電波を受信すると、画面左下に「✕」のマークが表示されます。

１１）Left キーを押してください。
＜グループ選択画面＞にもどります。

３．タグを追加登録する

ここでは、すでに登録してあるタグに加えて、新たなタグを追加登録する場合について説明します。

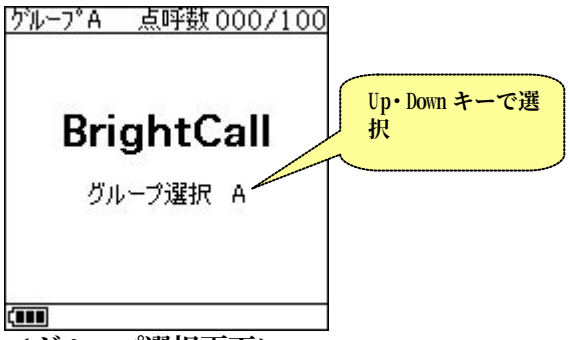
１台の点呼器では、各グループ（A,B,C,D）ごとに、登録数が定員（100 個）に達するまでは何度でもタグ登録モードを実行して、タグＩＤを追加登録することができます。
その際には、繰返し登録を実行しても、すでに登録してあるタグＩＤが消去されることはありません。
ただし、点呼器のデータがＰＣから転送されたものである場合には、タグ登録モードを実行すると点呼器に転送されているデータがすべて消去されてしまいます。この場合は、追加登録するタグＩＤのみが登録されますのでご注意ください。（ＰＣからのデータ転送については第２,３,４章で説明します。）

追加登録時の操作方法については、本章の「１．タグを一度にまとめて登録する」、および「２．タグを１つずつ順番に登録する」にしたがってください。

４．登録したタグを消去する

ここでは登録したタグＩＤを消去する方法について説明します。この操作を行うと、登録されている全グループのデータが消去されます。

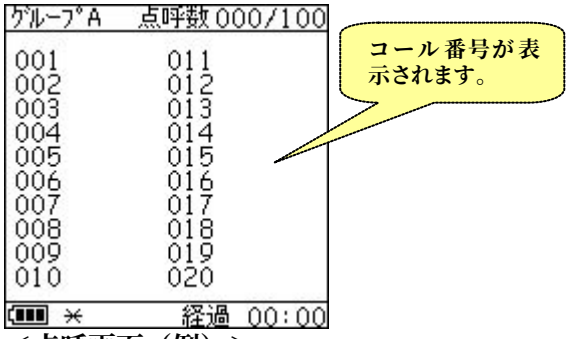
１）点呼器の電源を入れてください。
＜グループ選択画面＞が表示されます。



＜グループ選択画面＞

２）Enter キーを押してください。
Ａグループの＜点呼画面＞が表示されます。

※どのグループを選択しても消去操作ができ、全グループのデータが消去されます。
選択したグループにデータが無い場合でも消去操作ができます。



＜点呼画面（例）＞

３）Edit キーを押してください。
データ編集モードに入り、＜グループ編集画面＞が表示されます。

＜グループ編集画面＞

４）もう一度、Edit キーを押してください。
＜終了メニュー画面＞が表示されます。

＜終了メニュー画面＞

5）Up キーを押してください。
登録されている全グループのデータが消去されて、＜点呼画面（未登録）＞が表示されます。
※＜終了メニュー画面＞の操作についてはP.50 第6章1．8）で詳しく説明します。

＜点呼画面（未登録）＞

6）Left キーを押してください。
＜グループ選択画面＞にもどります。

第２章　タグのＩＤを点呼器からＰＣに転送する

１．タグＩＤをはじめて転送する

本書は WindowsXP をお使いの場合の表示画面を載せておりますが、Windows2000 でも同様の画面が表示されます。

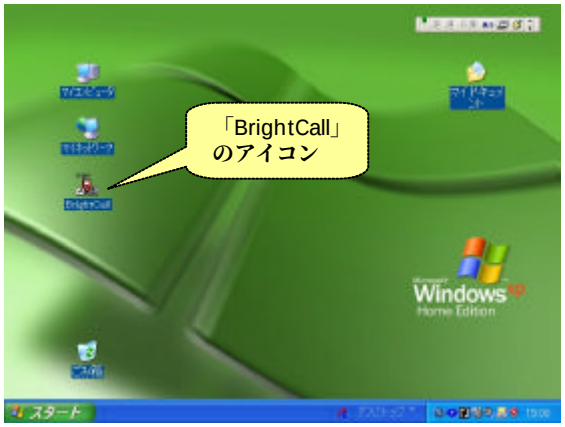
＜グループ選択画面＞

１）点呼器（タグ登録済み）とＰＣの電源を入れてください。

※点呼器の画面は＜グループ選択画面＞にしておいてください。
＜グループ選択画面＞で転送を行わないと通信エラーとなります。(P.31※注意 4-2A)

２）点呼器とＰＣを付属のＵＳＢケーブルで接続してください。

※ＵＳＢケーブルの端子を点呼器とＰＣのコネクタに十分に差し込んでください。

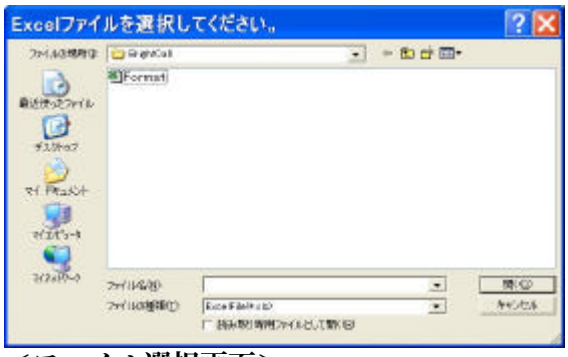


＜ＰＣ画面（例）＞

３）ＰＣ画面上にある「BrightCall」のアイコンをダブルクリックしてください。
＜操作画面＞が表示されます。

＜操作画面＞

４）ファイルを選択をクリックしてください。
＜ファイル選択画面＞が表示されます。



＜ファイル選択画面＞

5）
①タグＩＤを転送する Excel ファイルをクリックして指定してください。
②開く(O)をクリックしてください。指定したファイルが選択され、＜操作画面＞にもどります。

※サンプルファイル「Format」が表示されますので、ご利用ください。サンプルファイル「Format」は名前を変更して保存することができます。

＜操作画面＞

6）データ受信開始をクリックしてください。
タグＩＤが点呼器からＰＣに転送されます。

※Excel ファイルはタグＩＤの転送のたびに上書きされます。Excel ファイルに古いデータが残っていた場合は、古いデータは全て消去されます。

※左図のような確認画面が表示された場合は、マクロを有効にする(E)をクリックしてください。

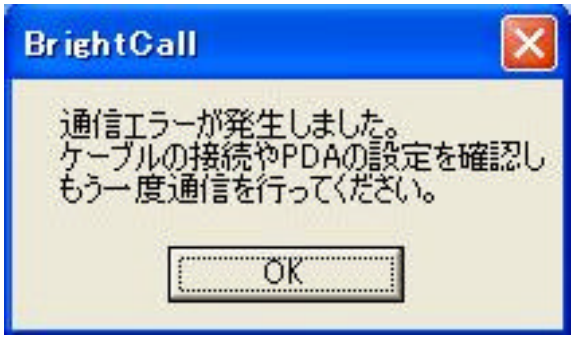
※左図のような確認画面が表示された場合は、はい(Y)をクリックしてください。

＜タグＩＤ転送中の画面＞

※データ転送中は、点呼器の画面に「ＵＳＢ送信モード」と表示されます。

※注意 4-2A：通信エラー

データの転送時に、下図のエラーメッセージが表示される場合があります。

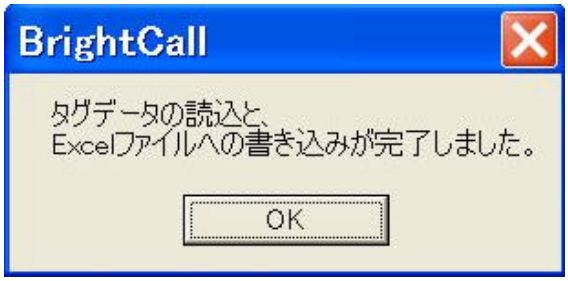


通信エラーの対処方法については、P.53「第５部トラブルシューティング」をお読みください。

＜Excel ファイル（タグＩＤ転送後）＞

※データが転送されると、ＰＣ画面上では選択した Excel ファイルが開いて、シートＡ,Ｂ,Ｃ,ＤにタグＩＤが書き込まれていきます。
※データの転送が完了すると、左図のように Excel ファイルのMシート（マスターシート）が表示されます。

※マスターシートはタグを一括管理するためのシートです。名前入力やグループ振分けなどの操作はすべてマスターシート上で行います。マスターシート上のデータは点呼器には転送されません。シートＡ,Ｂ,Ｃ,Ｄのデータが点呼器に転送されます。



７）タグＩＤの転送が完了すると、左図のメッセージが表示されます。
OK をクリックしてください。タグＩＤの転送は終了です。

＜Excel ファイル（タグＩD転記後）の例＞

8）タグＩD転記をクリックしてください。左図のように、点呼器からシートA,B,C,Dに転送されたタグＩDがマスターシートに転記されます。

※「タグＩD転記」によって、シートA,B,C,D上のデータは消去されます。
※「タグＩD転記」操作は、点呼器からタグＩDを転送した時に、1回だけ行ってください。2回操作を行うとマスターシートのタグＩDデータがすべて消去されてしまいます。

9）並べ替えをクリックしてください。
タグＩDを番号の小さい順（昇順）に並べ替えます。

＜Excel ファイル（並べ替え後）の例＞

１０）続けて名前データを入力する場合は、P.40 第３章４）にすすんでください。
※名前データを入力しないで操作を終了する場合は、＜操作画面＞と Excel ファイルを閉じてください。Excel ファイルの保存・終了などの操作については通常の Excel の操作方法にしたがってください。

２．タグＩＤを追加転送する

ここでは、タグを追加購入された場合など、マスターシート上にすでに転送されているタグＩＤの後に、新たにタグＩＤを追加する方法について説明します。

注意：ＰＣに転送するのは追加分のタグＩＤのみです。以下の手順で追加分のタグＩＤを点呼器に登録してください。
①点呼器に登録されているタグのデータを消去してください。
（P.27 第１章４．にしたがってください。）
②追加分のタグのみを点呼器に登録してください。
（P.22 第１章１．にしたがってください。）

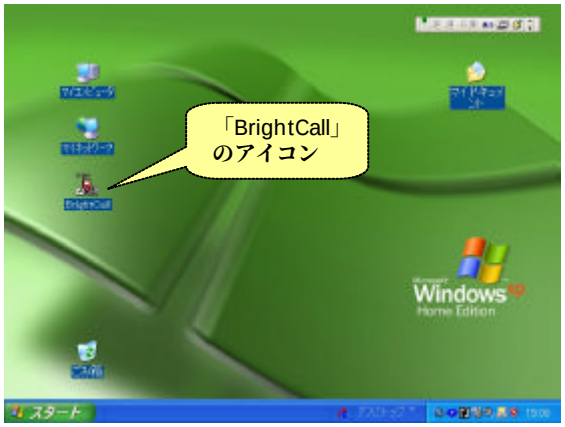
＜グループ選択画面＞

１）点呼器（追加タグ登録済み）とＰＣの電源を入れてください。

※点呼器の画面は＜グループ選択画面＞にしておいてください。
＜グループ選択画面＞で転送を行わないと通信エラーとなります。(P.31※注意 4-2A)

２）点呼器とＰＣを付属のＵＳＢケーブルで接続してください。

※ＵＳＢケーブルの端子を点呼器とＰＣのコネクタに十分に差し込んでください。

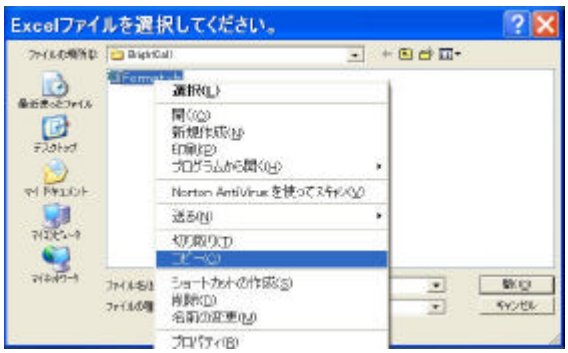


＜ＰＣ画面（例）＞

３）ＰＣ画面上にある「BrightCall」のアイコンをダブルクリックしてください。
＜操作画面＞が表示されます。

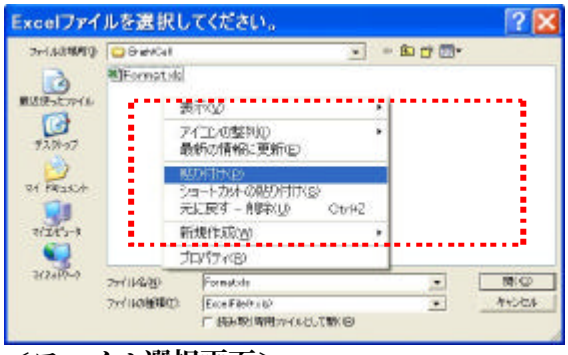
＜操作画面＞

4）ファイルを選択をクリックしてください。
＜ファイル選択画面＞が表示されます。



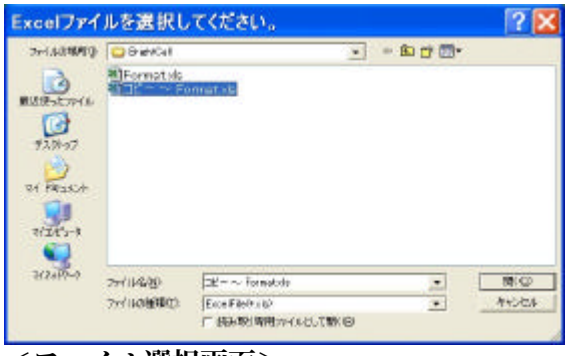
＜ファイル選択画面＞

5）追加分のタグＩＤを転送する Excel ファイルを作成します。
①サンプルファイル「Format」を右クリックしてください。
②メニューのコピー(C)をクリックしてください。



＜ファイル選択画面＞

6）
①　　内の空白の場所で右クリックしてください。
②メニューの貼り付け(P)をクリックしてください。



＜ファイル選択画面＞

7）追加分のタグＩＤを転送する Excel ファイル「コピー～Format」ができました。
①「コピー～Format」をクリックして指定してください。
②開く(0)をクリックしてください。指定したファイルが選択され、＜操作画面＞にもどります。

＜操作画面＞

8）データ受信開始をクリックしてください。
タグＩＤが点呼器からＰＣに転送されます。

※Excel ファイルはタグＩＤの転送のたびに上書きされます。Excel ファイルに古いデータが残っていた場合は、古いデータは全て消去されます。

※左図のような確認画面が表示された場合は、マクロを有効にする(E)をクリックしてください。

※左図のような確認画面が表示された場合は、はい(Y)をクリックしてください。

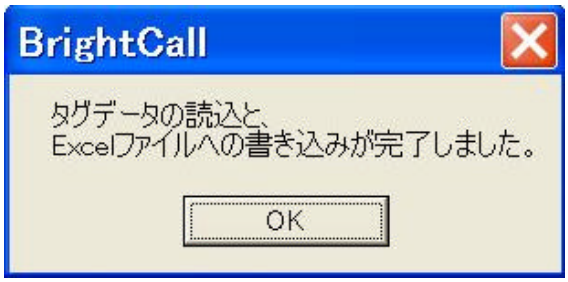
＜タグＩＤ転送中の画面＞

※データ転送中は、点呼器の画面に「ＵＳＢ送信モード」と表示されます。

＜Excel ファイル（タグＩＤ転送後）＞

※データが転送されると、ＰＣ画面上では選択した Excel ファイルが開いて、シートＡ,Ｂ,Ｃ,ＤにタグＩＤが書き込まれていきます。
※データの転送が完了すると、左図のように Excel ファイルのMシート（マスターシート）が表示されます。

※マスターシートはタグを一括管理するためのシートです。名前入力やグループ振分けなどの操作はすべてマスターシート上で行います。マスターシート上のデータは点呼器には転送されません。シートＡ,Ｂ,Ｃ,Ｄのデータが点呼器に転送されます。



7）タグＩＤの転送が完了すると、左図のメッセージが表示されます。
OK をクリックしてください。タグＩＤの転送は終了です。

＜Excel ファイル（タグＩＤ転記後）の例＞

8）タグＩＤ転記をクリックしてください。左図のように、点呼器からシートＡ,Ｂ,Ｃ,Ｄに転送されたタグＩＤがマスターシートに転記されます。

※「タグＩＤ転記」によってシートＡ,Ｂ,Ｃ,Ｄ上のデータは消去されます。
※「タグＩＤ転記」操作は、点呼器からタグＩＤを転送した時に、１回だけ行ってください。２回操作を行うとマスターシートのタグＩＤデータがすべて消去されてしまいます。

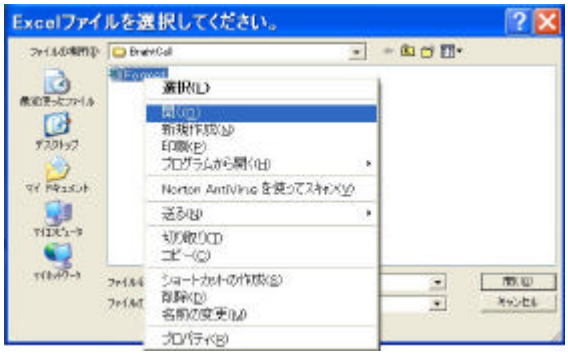
9）並べ替えをクリックしてください。
タグＩＤを番号の小さい順（昇順）に並べ替えます。

＜Excel ファイル（並べ替え後）の例＞

１０）追加分のタグＩＤをコピーしてください。
※コピー・貼り付けの方法は、通常の Excel の操作方法にしたがってください。

＜操作画面＞

１１）すでにタグが登録されている Excel ファイル「Format」を開きます。
ファイルを選択をクリックしてください。
＜ファイル選択画面＞が表示されます。

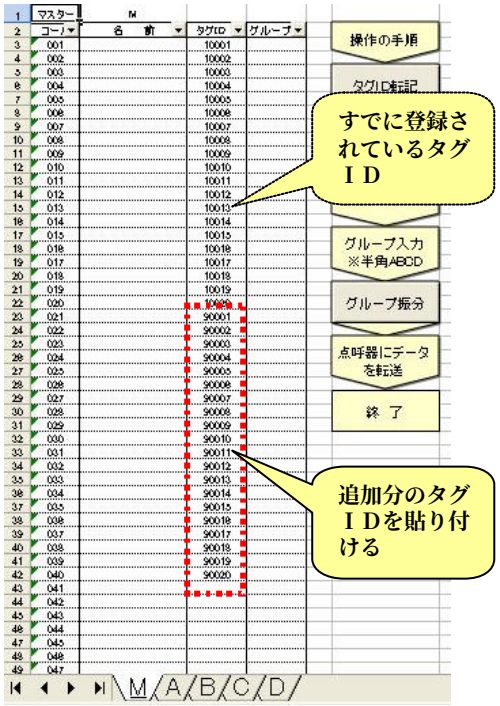


＜ファイル選択画面＞

１２）
①「Format」を右クリックしてください。
②メニューの開く(O)をクリックしてください。ファイルが開きます。

※左図のような確認画面が表示された場合は、マクロを有効にする(E)をクリックしてください。

※左図のような確認画面が表示された場合は、
はい(Y)をクリックしてください。



＜Excel ファイル（タグ追加後）の例＞

１３）マスターシート上にすでに登録されているタグＩＤの後に、先程コピーした追加分のタグＩＤを貼り付けてください。
※コピー・貼り付けの方法は、通常の Excel の操作方法にしたがってください。

第３章　名前データを入力する

本章では、第２章でタグのＩＤを転送した Excel ファイルに、タグを携帯者の名前を入力する方法について説明します。
本書は WindowsXP をお使いの場合の表示画面を載せておりますが、Windows2000 でも同様の画面が表示されます。

＜ＰＣ画面（例）＞

１）ＰＣ画面上にある「BrightCall」のアイコンをダブルクリックしてください。
＜操作画面＞が表示されます。

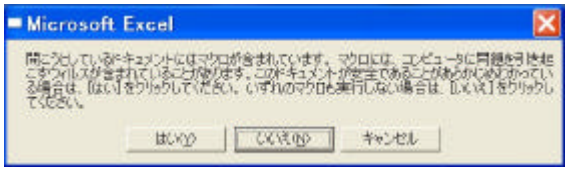
＜操作画面＞

２）ファイルを選択をクリックしてください。
＜ファイル選択画面＞が表示されます。

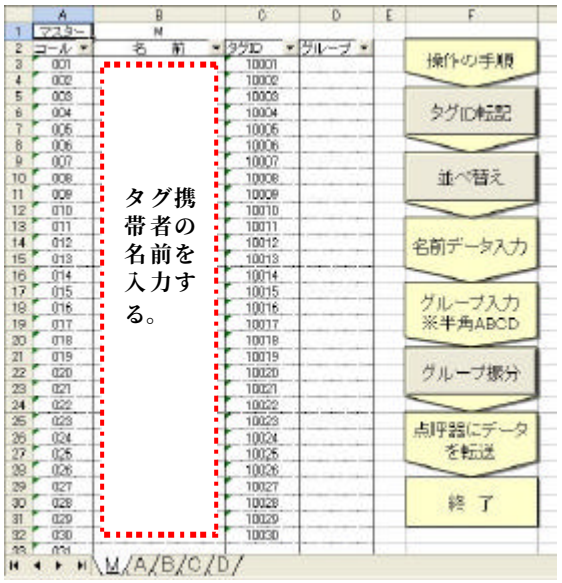
＜ファイル選択画面＞

３）
①名前データを入力する Excel ファイルを右クリックしてください。
②メニューの開く(O)をクリックしてください。指定したファイルが開きます。

※左図のような確認画面が表示された場合は
マクロを有効にする(E)をクリックしてください。



※左図のような確認画面が表示された場合は、
はい(Y)をクリックしてください。



＜Excel ファイル（並べ替え後）の例＞

4）タグＩＤに対応させて、タグ携帯者の名前を入力してください。
※入力できる文字数は、
漢字・かな：６文字
半角英数字：１２文字
までです。(P.41※注意 4-3A)

＜Excel ファイル（名前入力後）の例＞

5）名前データを入力したら、グループを入力してください。
※グループは半角の A,B,C,D 以外は入力しないでください。
※グループを振分けない場合は、空欄のままにしてください。

※注意 4-3A：Excel ファイル作成上のルールについて（下図を参照してください）

Excel ファイルは、点呼器とＰＣの間でデータを転送する上でいくつかの決まりを設けています。Excel ファイルを作成する際には、以下の点にご注意ください。

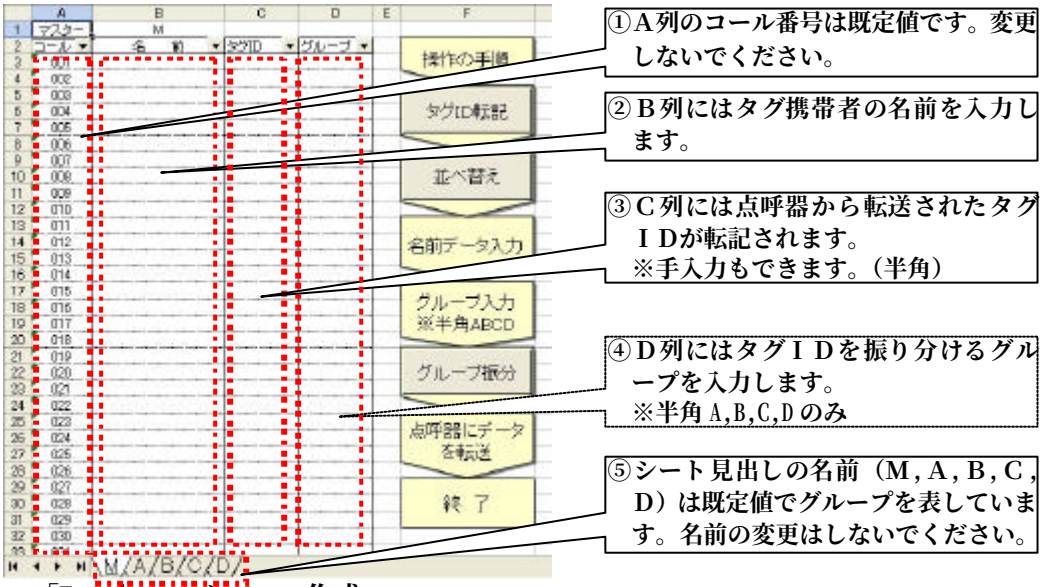
①Ａ列のコール番号は既定値です。変更しないでください。

②Ｂ列にはタグ携帯者の名前を入力します。Windows 上の Excel その他のアプリケーションで作成したデータを貼り付けることもできます。
名前の文字数は、漢字・かなで６文字、半角英数字で１２文字までです。
名前を入力しないタグには、自動的に「Guest№」が付けられます。「Guest№」はコール番号と同様にどのグループの何番目に振り分けられたかによって、グループＡ「Guest№001～100」、グループＢ「Guest№101～200」、グループＣ「Guest№201～300」、グループＤ「Guest№301～400」のように３けた番号が付けられます。

③Ｃ列には点呼器から転送したタグＩＤが転記されます。※手入力もできます。（半角）

④Ｄ列にはタグＩＤを振り分けるグループを入力します。※半角 A,B,C,D のみ
グループ振り分けをしないタグは、空欄のままとしてください。

⑤シート見出しの名前（M,A,B,C,D）は既定値でグループを表しています。変更しないでください。

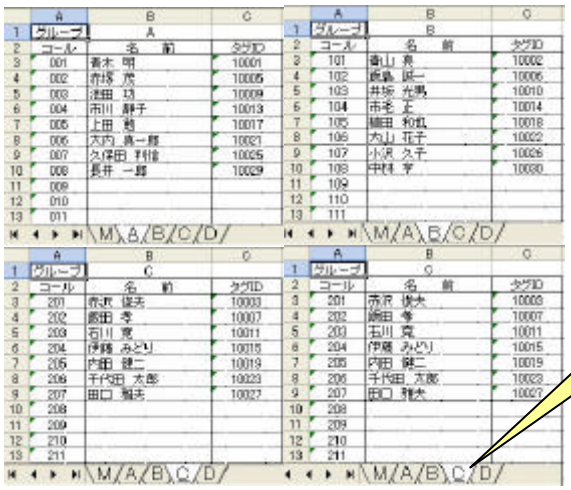


「Excel ファイル」の作成ルール

＜Excel ファイル（グループ入力後）の例＞

6）グループ振分をクリックしてください。シートＡ,Ｂ,Ｃ,ＤにそれぞれのタグＩＤと名前が書き込まれます。

グループ振分後もマスターシートが表示されます。



＜Excel ファイル（グループ振分後）の例＞

※シートＡ，Ｂ，Ｃ，Ｄは表示されませんが左図のようにタグＩＤと名前が書き込まれています。
シートＡ，Ｂ，Ｃ，Ｄの内容を確認する場合は、見出しタブをクリックしてください。

※続けて名前データの転送をする場合は、P.44 第４章６）にすすんでください。

※操作を終了する場合は、操作画面と Excel ファイルを閉じてください。Excel ファイルの保存・終了などの操作については通常の Excel の操作方法にしたがってください。

第４章　タグＩＤと名前データをＰＣから点呼器に転送する

本章では、第３章で作成した Excel ファイルのデータを、ＰＣから点呼器に転送します。
本書は WindowsXP をお使いの場合の表示画面を載せておりますが、Windows2000 でも同様の画面が表示されます。

＜グループ選択画面＞

１）点呼器とＰＣの電源を入れてください。

※点呼器の画面は＜グループ選択画面＞にしておいてください。
＜グループ選択画面＞で転送を行わないと通信エラーとなります。(P.31※注意 4-2A)

２）点呼器とＰＣを付属のＵＳＢケーブルで接続してください。

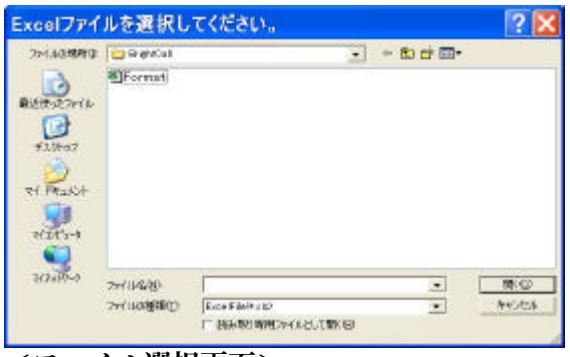
※ＵＳＢケーブルの端子をコネクタに十分に差し込んでください。

＜ＰＣ画面（例）＞

３）ＰＣ画面上にある「BrightCall」のアイコンをダブルクリックしてください。
＜操作画面＞が表示されます。

＜操作画面＞

４）ファイルを選択をクリックしてください。
＜ファイル選択画面＞が表示されます。



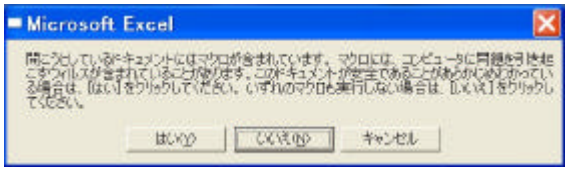
＜ファイル選択画面＞

5）
①データを転送する Excel ファイルをクリックして指定してください。
②開く(O)をクリックしてください。
指定したファイルが選択され、＜操作画面＞にもどります。

＜操作画面＞

6）名前データ変換をクリックしてください。
選択された「Excel ファイル」からデータを読み込み、転送する形式に変換します。

※左図のような確認画面が表示された場合は、マクロを有効にする(E)をクリックしてください。



※左図のような確認画面が表示された場合は、はい(Y)をクリックしてください。

7）名前データ変換が完了すると、左図のメッセージボックスが表示されます。

OK をクリックしてください。

＜操作画面＞

8）名前データ送信をクリックしてください。
ＰＣから点呼器へデータを転送します。

※転送には約 50 秒かかります。

※データをＰＣから点呼器に転送すると、点呼器に入っている古いデータは全て消去されます。

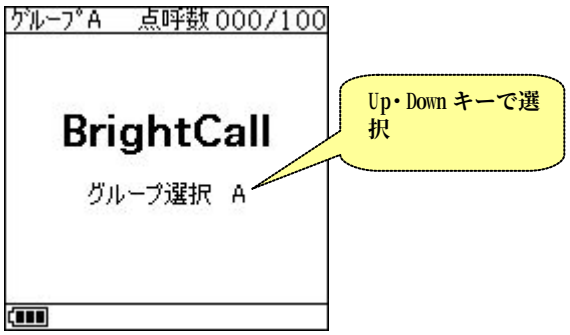
＜名前データ転送画面＞

※データ転送中は点呼器の画面では「ＵＳＢ受信モード」と表示されます。

9）名前データ送信が完了すると、左図のメッセージが表示されます。

OK をクリックしてください。

※操作画面と Excel ファイルを閉じてください。Excel ファイルの保存・終了などの操作については通常の Excel の操作方法にしたがってください。

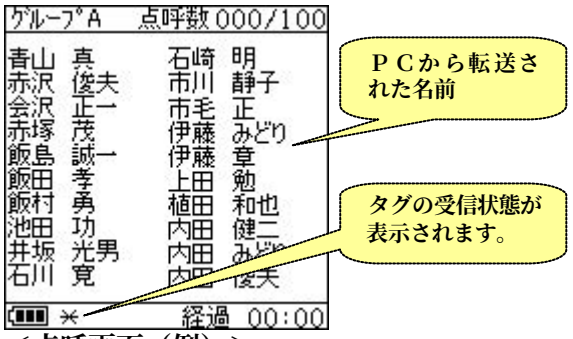


＜グループ選択画面＞

１０）転送した名前を点呼器の画面で確認します。

① Up キーまたは Down キーでグループを選択してください。

②Enter キーを押してください。＜点呼画面＞が表示され、転送した名前が表示されます。



＜点呼画面（例）＞

※＜点呼画面＞には 20 名分の氏名が表示されます。
Up キー・Down キーを押すと 20 人分ずつページスクロールされます。

※＜点呼画面＞で Call キーを押すと、点呼を開始します。詳細は P.47 第５章をお読みください。

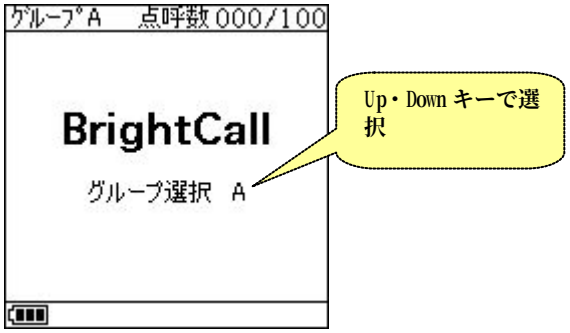
※＜点呼画面＞では、タグの電波を受信すると画面左下に「✳」のマークが表示されます。

１１）Left キーを押してください。
＜グループ選択画面＞にもどります。

第５章　点呼を行う

本章では点呼器を使ったタグの点呼方法について説明します。

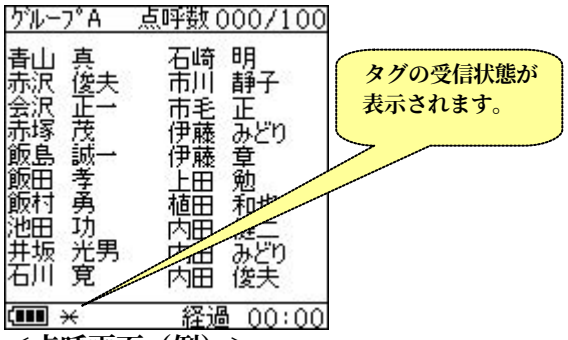
１）点呼器の電源を入れてください。
＜グループ選択＞画面が表示されます。
アンテナを立ててください。



＜グループ選択画面＞

２）点呼を行うグループ（A,B,C,D）を Up キーまたは Down キーで選択してください。

３）Enter キーまたは Call キーを押してください。点呼するグループが確定されて＜点呼画面＞が表示されます。



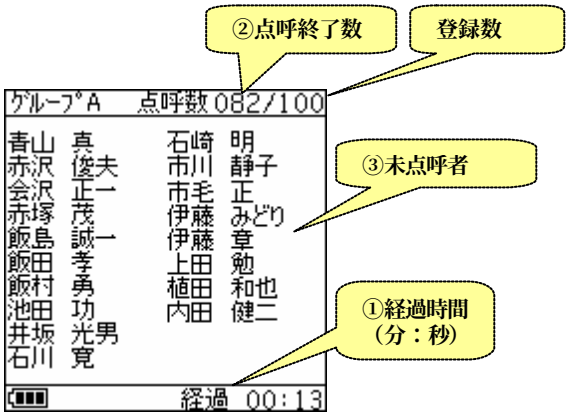
＜点呼画面（例）＞

※＜点呼画面＞には 20 名分の氏名が表示されます。
Up キー・Down キーを押すと 20 人分ずつページスクロールされます。

※＜点呼画面＞では、タグから発信されている電波を受信した場合に、画面左下に「米」のマークが表示されます。

＜点呼画面（未登録）＞

※選択されたグループにデータが登録されていない場合、左図のメッセージが表示されます。



＜点呼中の動作画面（例）＞

4）Call キーを押してください。点呼が開始されます。左図は点呼中の動作画面の例です。

※点呼動作中の画面表示
①経過：点呼開始からの経過時間を表示します。（左図の例は点呼開始後 13 秒間経過したことを示しています。）
②点呼数：「点呼終了数／登録数」を表示します。（左図の例は登録数100のうち82を点呼したことを示しています。）
③未点呼者氏名または未点呼コール番号：画面中央に表示します。（左図の例は未点呼者 18 名の氏名を表示しています。）

※点呼動作中の割込操作
①点呼の中止：点呼動作中に Enter キーを押してください。点呼を中止して、未点呼者の氏名またはコール番号をそのまま表示します。Left キーを押すと、＜グループ選択画面＞にもどります。
②点呼のやり直し：点呼動作中に Call キーを押してください。途中までの点呼操作をリセットして、点呼をはじめからやり直すことができます。

＜点呼完了画面＞

5）点呼が完了すると、＜点呼完了画面＞が表示され、「ピー」という電子音が鳴ります。再点呼を行う場合は、Call キーを押してください。

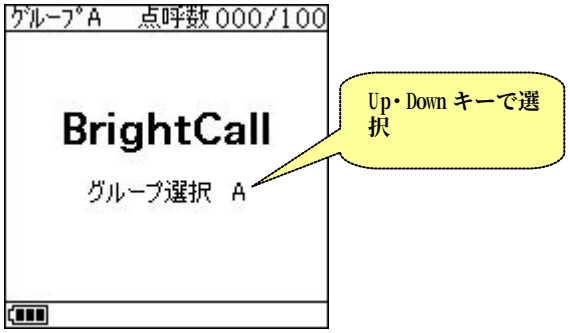
6）他グループの点呼を行う場合は、Left キーを押してください。
＜グループ選択画面＞にもどります。
2）から5）と同様の操作で他グループを選択して点呼を行ってください。

第６章　グループの変更を行う

本章では、点呼器でタグ携帯者の所属するグループの変更方法について説明します。

１．グループを変更する

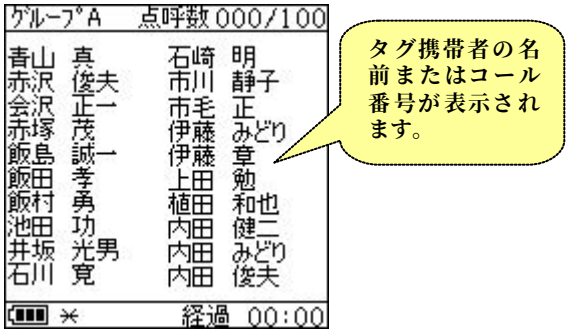
１）点呼器の電源を入れてください。
＜グループ選択画面＞が表示されます。



＜グループ選択画面＞

２）グループ変更対象者の所属するグループ（A,B,C,D）を、Up キーもしくは Down キーで選択してください。

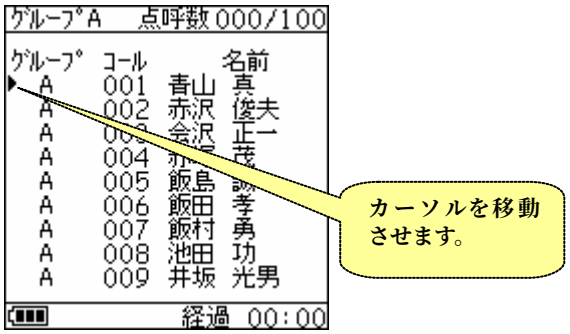
３）Enter キーを押してください。
グループが確定されて、＜点呼画面＞が表示されます。



＜点呼画面（例）＞

※名前データが転送されていない場合は、コール番号が表示されます。

４）Edit キーを押してください。データ編集モードに入り、＜データ編集画面＞が表示されます。



＜グループ編集画面＞

５）Up キーまたは Down キーで、矢印型のカーソルをグループ変更対象者の前に移動させてください。
※Up キーまたは Down キーを長押しすると、ページスクロールができます。

６）Enter キーを押してください。矢印型のカーソルで選択されたデータのグループが変更されます。（A→B→C→D→E→A）

※グループＥは、グループＡ,Ｂ,Ｃ,Ｄに登録したタグを点呼対象からはずしたり、予備のタグを置いておく場合などに移動させるグループです。

7）グループ変更がすべて終わったら、Edit キーを押してください。
＜終了メニュー画面＞が表示されます。

＜終了メニュー画面＞

8）＜終了メニュー画面＞上の操作
Enter キーを押すと、編集された内容が保存されて、＜点呼画面＞が表示されます。(P.50※注意 4-6A)
Right キーを押すと＜データ編集画面＞にもどります。
Left キーを押すと、編集内容が取り消されて登録時の状態にもどり、＜点呼画面＞が表示されます。(P.50※注意 4-6B)
Up キーを押すと登録されている全グループのデータが消去されて、＜点呼画面（未登録）＞が表示されます。

※注意 4-6A：
＜データ編集画面＞でのグループ変更操作によって移動先のグループが定員（100 名）を超えている場合に、＜終了メニュー画面＞で Enter キーを押すと、100 名に達するまでの変更分のみ編集が保存され、101 名以降の変更は取り消されます。
これは、グループ変更操作が３つ以上のグループ間で行われた場合でも同じです。

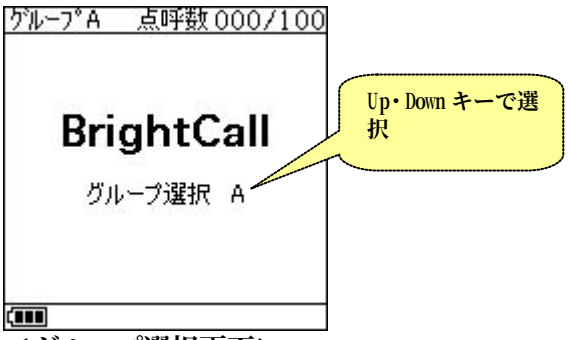
①例１：グループＡに 90 名、グループＢにも 90 名登録されている状態で、＜データ編集画面＞でグループＡの 30 名をグループＢに変更して、＜終了メニュー画面＞で Enter キーを押すと、グループＡの 30 名のうち並び順の早い 10 名はグループＢに移動しますが、残りの 20 名はグループＡに残されたまま保存されることとなります。この結果、登録数はグループＡが 80 名、グループＢが 100 名となります。
②例２：グループＡ,Ｂ,Ｃにそれぞれ 90 名ずつ登録されている状態で、＜データ編集画面＞でグループＡの 25 名をグループＢに変更し、さらにグループＡの 5 名をグループＣに変更して、＜終了メニュー画面＞で Enter キーを押すと、グループＡからグループＢに変更された 25 名のうち並び順の早い 10 名はグループＢに移動しますが、残りの 15 名はグループＡに残されたまま保存されます。また、グループＡからグループＣに変更された 5 名はすべてグループＣに移動します。この結果、登録数はグループＡが 75 名、グループＢが 100 名、グループＣが 95 名となります。

※注意 4-6B：
＜終了メニュー画面＞で Left キーを押すと、登録後にいままで変更してきた内容がすべて取り消されて登録時の状態にもどります。ＰＣからデータ転送を行った場合は、データ転送後の状態にもどります。
つまり、点呼器での登録時またはＰＣからの転送時に割り振られたコール番号にしたがって、タグＩＤは登録（転送）されたグループの登録（転送）された順番に並びます。

２．タグのＩＤを確認する

点呼の際に不在者のタグのＩＤを確認する場合は、＜タグ参照画面＞で確認することができます。

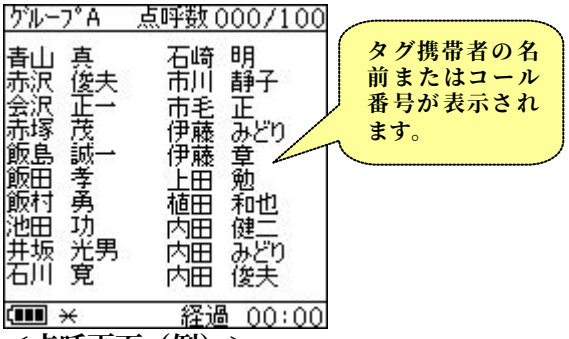
１）点呼器の電源を入れてください。
＜グループ選択画面＞が表示されます。



＜グループ選択画面＞

２）タグＩＤ確認対象者の所属するグループ（A,B,C,D）を、Up キーもしくは Down キーで選択してください。

３）Enter キーを押してください。
グループが確定されて、＜点呼画面＞が表示されます。



＜点呼画面（例）＞

※名前データが転送されていない場合は、コール番号が表示されます。

４）Edit キーを押してください。データ編集モードに入り、＜データ編集画面＞が表示されます。

＜グループ編集画面＞

５）＜グループ編集画面＞で Right キーを押してください。
＜タグ参照画面＞が表示され、タグＩＤを確認できます。

＜タグ参照画面＞

6）Left キーを押してください。
＜グループ編集画面＞にもどります。

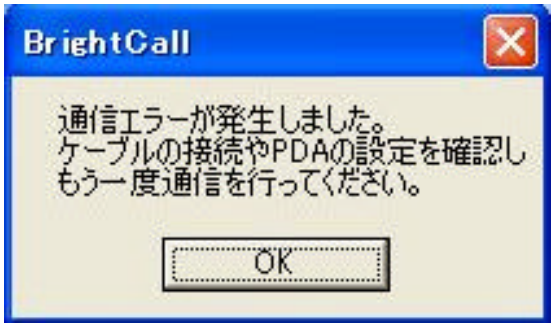
＜終了メニュー画面＞

7）Enter キーを押してください。
＜点呼画面＞にもどります。

第５部　トラブルシューティング

１．通信エラーが起こる

データの転送時に、下記のエラーメッセージが表示される場合があります。



（１）考えられる原因

通信エラーが起こった場合は、以下の原因が考えられます。

①点呼器の画面が＜グループ選択画面＞になっていない。

②ＵＳＢケーブルが接続されていない。または、ケーブルの端子がコネクタに十分に差し込まれていない。

③ＵＳＢドライバがインストールされていない。

（２）対処方法

上記原因に対して、以下の対処をとってください。

①イ）点呼器の画面が＜グループ選択画面＞になっていることを確認してください。

ロ）他の画面が表示されている場合は、＜グループ選択画面＞にしてください。

②イ）ＵＳＢケーブルがデータを転送するＰＣと点呼器に接続されていることを確認してください。

ロ）ＵＳＢケーブルが対象となるＰＣと点呼器に接続されている場合は、ＵＳＢケーブルを取りはずして、再び接続し直してください。この際、ケーブルの端子をコネクタに十分に差し込んでください。

③イ）ＵＳＢドライバをまだインストールしていない場合は、P.19 第３部第２章の説明にしたがって、インストールを行ってください。

ロ）ＵＳＢドライバをすでにインストールしている場合は、正常にインストールされているかどうかを確認してください。確認の方法については、P.54「２．（１）インストール状況の確認」にしたがってください。

ハ）ＵＳＢドライバが正常にインストールされていない場合は、再インストールを行ってください。再インストールの方法については、P.57「２．（２）ＵＳＢドライバの再インストール」にしたがってください。

２．ＵＳＢドライバがインストールできない

本書は WindowsXP をお使いの場合の表示画面を載せておりますが、Windows2000 でも同様の画面が表示されます。

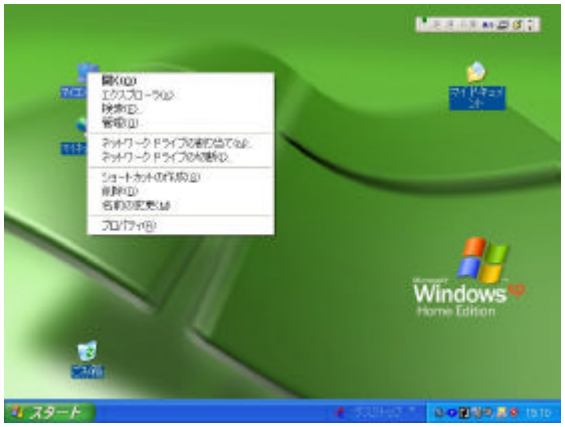
（１）インストール状況の確認
ＵＳＢドライバのインストールが正常に終了していることを確認します。

１）ＰＣと点呼器の電源を入れてください。

２）ＰＣと点呼器をＵＳＢケーブルで接続してください。

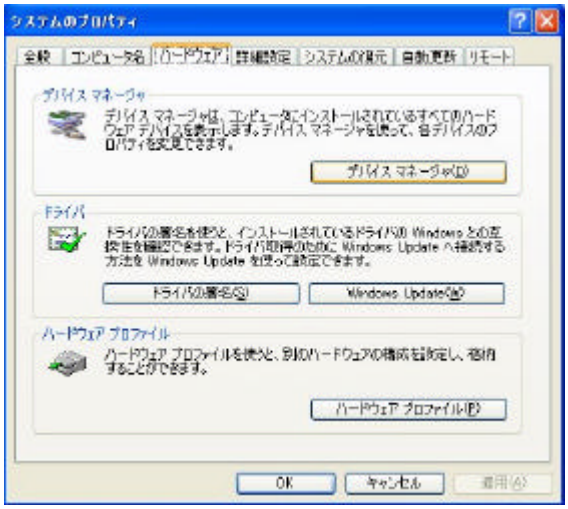
※ＵＳＢケーブルの端子を点呼器とＰＣのコネクタに十分に差し込んでください。

３）デスクトップ上にある「マイコンピュータ」のアイコンを右クリックしてください。

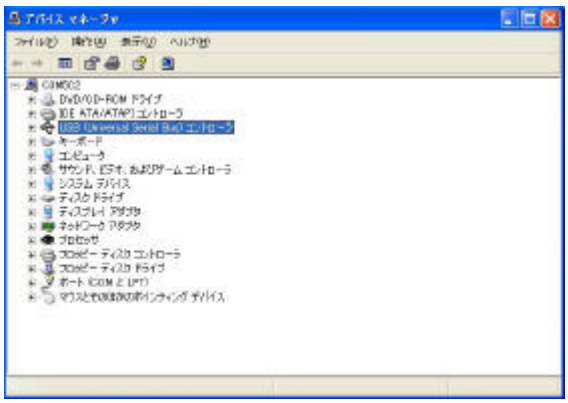


４）表示されたメニューの「プロパティ(R)」をクリックしてください。

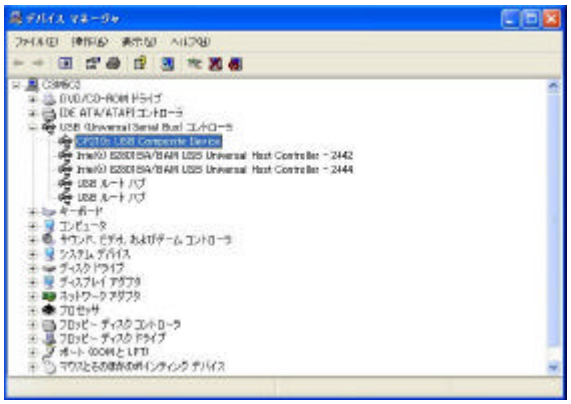
5）「ハードウェア」をクリックしてください。



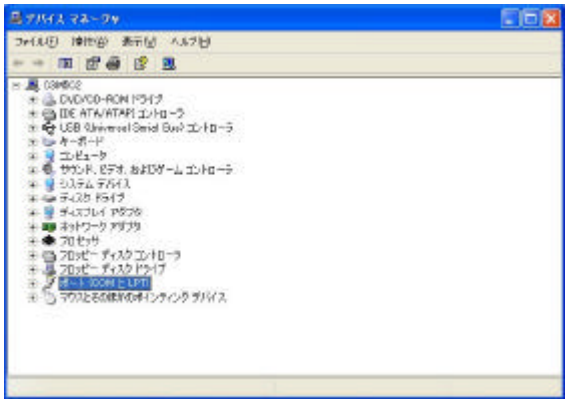
6）デバイス マネージャ(D)をクリックしてください。



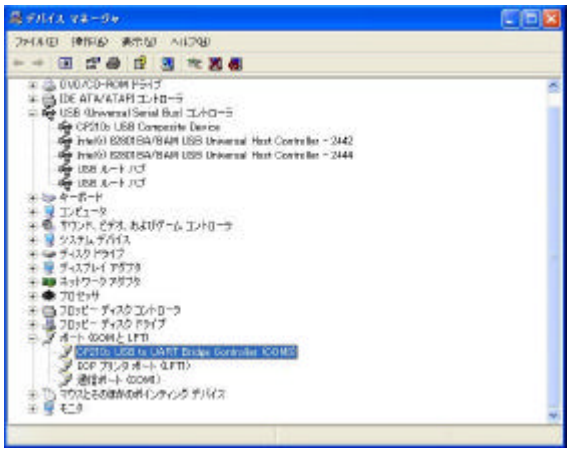
7）「ＵＳＢコントローラ」を開いてください。



８）「CP210x USB Composite Device」がリストにあることを確認してください。



９）「ポート」を開いてください。



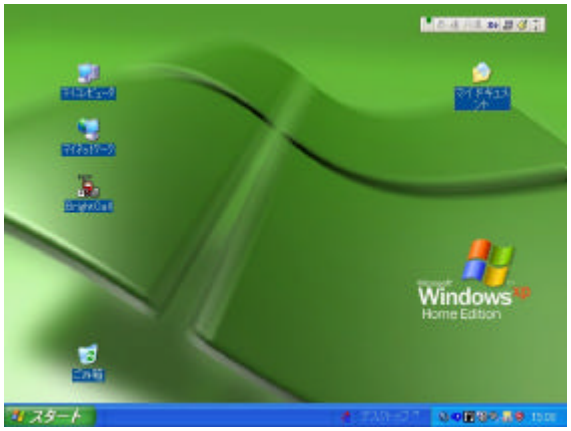
１０）「CP210x USB to UART Bridge Controller (COM__)」がリストにあることを確認してください。

これで、正常にインストールされたことが確認されました。

ウィンドウを閉じてください。

（2）ＵＳＢドライバの再インストール

（1）でＵＳＢドライバが正常にインストールされていないことが確認された場合は、ＵＳＢドライバを再インストールします。

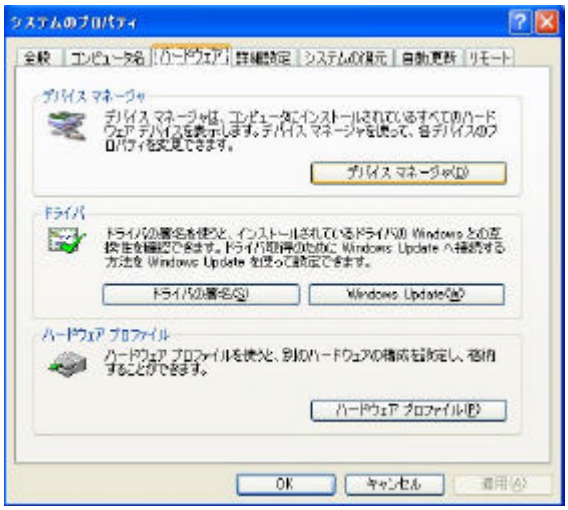


※ＰＣの電源を入れて、付属のＣＤをＰＣにセットしてください。

1）デスクトップ上にある「マイコンピュータ」のアイコンを右クリックしてください。

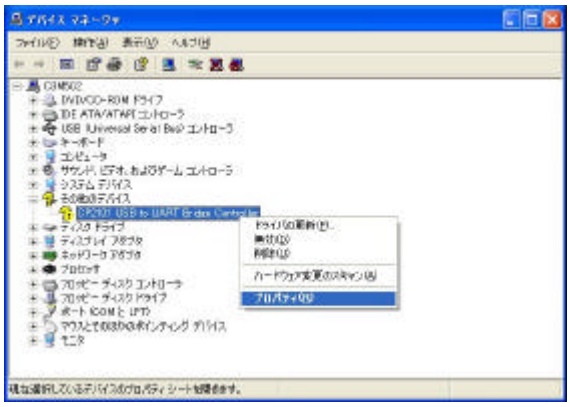
2）表示されたメニューの「プロパティ(R)」をクリックしてください。

3）「ハードウェア」をクリックしてください。



4）デバイス マネージャ(D)をクリックしてください。

5）「？マーク」の表示された「CP2101 USB to UART Bridge Controller」を右クリックしてください。

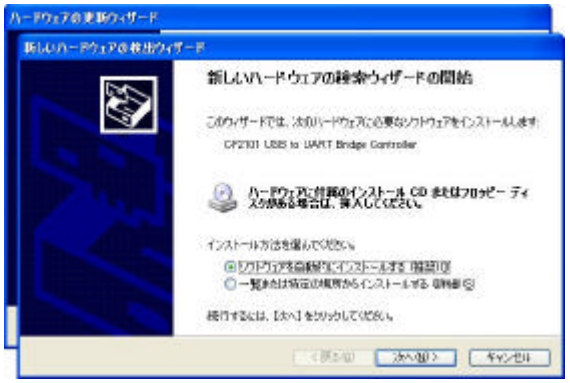


6）メニューの「プロパティ(R)」をクリックしてください。

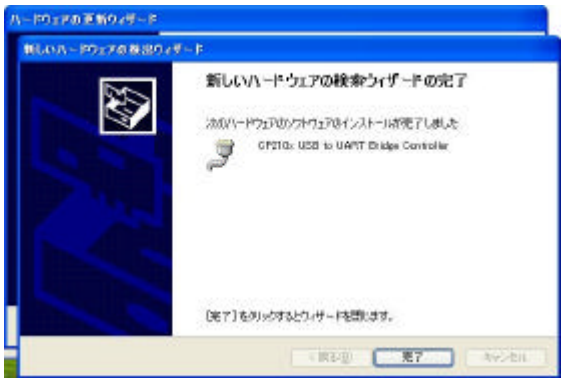
7）ドライバの再インストールをクリックしてください。

8）
①「一覧または特定の場所からインストールする（詳細）（S）」をチェックしてください。
②次へ(N)をクリックしてください。

9）
①「次の場所で最適のドライバを検索する(S)」をチェックしてください。
②「リムーバブルメディアを検索(M)」をチェックしてください。
③次へ(N)をクリックしてください。



１０）　８）と同様に左図の画面が表示されます。
８）、９）と同じ操作を繰り返してください。



１１）完了をクリックしてください。

１２）完了をクリックしてください。
ＵＳＢドライバのインストールを終了します。

※ＵＳＢドライバのインストールが正常に終了したことを確認します。
確認の方法については、P.54「２．（１）インストール状況の確認」にしたがってください。